● 株主メモ

事　業　年　度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
上記基準日	毎年3月31日 その他必要あるときは、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。
配当金受領株主確定日	
期末配当金	毎年3月31日
中間配当金	毎年9月30日
公告掲載紙	日本経済新聞
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番2号（東銀ビル） 東京証券代行株式会社
同事務取扱場所	〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目4番2号（東銀ビル） 東京証券代行株式会社　本店 電話　0120-49-7009（フリーダイヤル）
同　取　次　所	中央三井信託銀行株式会社　本店及び全国各支店

●お問い合わせ先

パラマウントベッド株式会社 広報室
〒136-8670 東京都江東区東砂2丁目14番5号
TEL：(03) 3648-1111（大代） FAX：(03) 3648-3662
http://www.paramount.co.jp

古紙パルプ配合率100%再生紙を使用

PRINTED WITH SOY INK

第58期 事業報告書

平成17年4月1日～平成18年3月31日

As Human, for Human

パラマウントベッド株式会社

証券コード：7960

先進の技術とやさしさで、
快適なヘルスケア環境を創造します。

（企業理念）

株主の皆さまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜りまして厚く御礼申し上げます。
ここに当社第58期（平成17年4月1日から平成18年3月31日まで）の事業の概況と決算をご報告いたします。

Statement:
As Human, for Human

増収減益

当期の業績（連結）につきましては、売上高が510億11百万円（前期比0.8%増）と4期連続で増収を達成いたしました。しかし利益面につきましては、鋼材等の原材料価格の高騰によるコスト増を新製品の投入など販売強化で吸収しきれず、経常利益が67億34百万円（同17.3%減）、当期純利益が37億82百万円（同26.4%減）と残念ながら4期連続増益はなりませんでした。

当期の利益配分につきましては、一株当たり25円の期末配当金とさせていただきました。この結果、当期の年間配当金は中間配当金25円と合わせ50円となりました。

また次期の利益配当につきましては、中間・期末ともに一株につき各25円、年間配当金50円を継続する予定であります。株主への利益還元につきましては、今後も積極的に取り組んでまいります。

診療報酬改定と介護保険制度改正

次期の見通しにつきましては、まず医療業界を見ますと、平成18年4月に診療報酬が改定され、診療報酬本体が1.36%減、全体では3.16%減と過去最大の下げ幅となり、当社の主要なユーザーである医療施設の経営への影響が懸念されます。

一方、高齢者福祉分野におきましては、同年4月の介護保険の制度改正により、当社ビジネスに最も関わりの深い在宅介護用ベッドの貸与（レンタル）サービスについて、軽度の要介護者の利用が原則として保険給付の対象外となりました。半年間の経過措置なども盛り込まれましたが、先行きの不透明感などから、レンタル事業者による新規購入が当期末から手控えられています。

次期の重点施策

このような事業環境のもとで、医療分野におきましては、低床型ベッドなど安全対策製品や販売好調なエバーフィットマットレスなどの拡販に取り組むほか、メディカルカート（診療材料・医薬品運搬車）をはじめ取り扱い品目を拡大して売上増加を図ります。また「ハイケア」担当者として、ICUや救急救命医療などの高度集中医療分野の販売スペシャリストを育成いたします。

高齢者福祉分野につきましては、増加が見込まれる高齢者施設に対する販売活動を強化してまいります。また在宅介護分野につきましては、製品の「フィッティング」（選定・調整）講習会等を通じてベッドの有用性を関係者に訴求するとともに、中・重度の要介護者の利用拡大を図ってまいります。

INTIME（インタイム）ブランドにつきましては当期につづき、直営店舗の販売力強化とともに、法人需要の開拓に努めてまいります。

グループの役割分担と連携強化

当社グループは、パラマウントベッド株式会社（以下当社）を中心に海外の生産子会社PT．パラマウントベッド・インドネシア（同PBI）、同じく八楽夢床業（中国）有限公司（同PBC）と、国内でメンテナンスサービスやリース・割賦事業を展開するパラテクノ株式会社（同PT）で構成されています。事業環境の変化に適応し、強固な経営基盤を構築するために、グループ内の連携を強化しているところです。

昨秋、創立10周年を迎えたPBIは、平成17年4月のPBCの操業開始に伴う中国向け輸出の減少に対応するため、インドネシア国内向け販売を強化しております。また、当社グループ内最適生産の観点から、手動式ベッドの生産の一部を当社から移管したほか、新製品の開発にも取り組んでおります。

昨年4月に操業開始したPBCの中国工場につきましては、中国国内のローカルメーカーとの厳しい価格競争を強いられているなかで今年1月、中国国内の病院ベッド市場について当初のビジネスモデルを見直し、当面は上級クラスの機種に絞って生産・販売を行うことにより、利益の改善を図ることといたしました。また、当社の新製品の一部について生産を予定しております。

PTは昨年4月、カスタマーサービスセンターおよびアフターサービス部門の業務を当社から全面的に引き継ぎました。また保守・点検等を含めた従来のメンテナンスサービス業務に新たにリース・割賦販売などの事業を加え、サービスメニューを充実させました。PTの事業活動の推進が、当社製品の信頼性の向上やブランド力のアップに結実するよう努めてまいります。

テクニカルセンターが本稼動

昨年1月より本社内で建設工事が進められていたテクニカルセンターが平成18年3月、完成しました。敷地面積は1,095㎡、延べ床面積は5,089㎡、地上7階建ての総ガラス張りビルです。

同センターには、開発スタッフのオフィスのほか、マットレス実験室や騒音測定室、電子顕微鏡室、睡眠実験室、ベッド洗浄室、斜面走行試験機などを配置しました。これからの技術開発の拠点となります。

テクニカルセンター（手前）

PT.パラマウントベッド・インドネシア創立10周年

復興に向け、新館建築中の病院にて。
病院スタッフと坂本英雄PBI社長（左から二人目）。
（2005年11月）

PT.パラマウントベッド・インドネシア（以下PBI）は昨年9月、創立10周年を迎えました。

次期は中国に代わる市場の開拓やさらなる新製品の開発を図るとともに、インドネシアにおける病院ベッド市場でのシェア第1位を目指します。

一昨年のスマトラ沖の大地震は、とくにアチェ地域に甚大な被害を与えました。PBIでは、衣料や食料、見舞い金のほか、ベッド30台を現地の病院に寄贈しました。被害の深刻さから、さらなる支援が必要と考え昨秋、ベッド100台をインドネシア保健省指定の病院に寄贈しました。

※インドネシア・ジャワ島において5月27日に発生した大地震では、犠牲者が6,000人を超えるとの報道がありました。当社グループとして支援を検討してまいりましたが、6月1日、PBIよりベッド18台・マットレス40枚等を被災地の5病院に搬入・設置しました。（6月1日記）

きめ細かいフィッティングができる歩行車「パラウォーク」を新発売

平成18年4月、利用者の体型や身体状況に応じてきめ細かいフィッティングができる“歩行車”『パラウォーク』を新発売しました。

『パラウォーク』は、ハンドルの高さを670mmから870mmまで無段階に、ハンドルの角度を上下左右に、座面の高さを450mm・490mm・530mmの3段階に調節できる歩行車です。利用者に適切な調節（フィッティング）をすることにより、車体に体重がかけやすくなり安定した歩行をサポートします。また、段差や凸凹のある場所でもより安定するよう路面の衝撃を吸収するサスペンション機能を搭載しています。

「バスケット付き」

「バスケットなし」

機種は、「バスケットなし」64,000円と「バスケット付き」69,500円（それぞれ非課税）の2タイプ。

テレビCM放映時間について

平成18年9月末までのテレビCM提供枠については以下のとおりとなっております。

❶ 日本プロ野球2006（日本テレビ系列）月曜と木曜の野球中継のある日 ▶ 19：00〜21：54
❷ ドラマコンプレックス（日本テレビ系列）毎週火曜 ▶ 21：00〜22：54
❸ グレートマザー物語（テレビ朝日系列）毎週日曜 ▶ 18：30〜18：56

専門職向けのサイトを開設

ケアマネジャーや福祉用具貸与事業者を対象とする「在宅ケアに関わる専門職のサイト」を昨年12月、開設しました。同サイトからは、当社製品の取扱説明書がダウンロードできるほか、イベント情報や当社発行の専門職向け情報誌「けあ・ふる」が閲覧できます。

当社のホームページから
http://www.paramount.co.jp

在宅ケアに関わる専門職のサイト

HOSPEX Japanに出展

医療関連では国内最大規模の展示会であるHOSPEX Japan（日本医療福祉設備学会併設の展示会）が平成17年11月9日〜11日、東京ビッグサイトにて開催されました。

同会では、当社社長木村憲司が副学会長・展示実行計画委員長を務め、企画展示の増加や出展スペースの拡大などに尽力しました。来場者数は3万7千人を超え盛況でした。

当社ブースでは高機能ICUベッドなどを展示しました。

日本睡眠改善協議会が発足

『日本睡眠改善協議会』が平成18年1月、当社を含む睡眠関連企業7社からなる共同団体『快眠コンソーシアム』と日本の睡眠科学を代表する学識経験者の協力により、設立されました。科学的事実に基づいた正しい睡眠に関する知識の普及と、それらを理解・活用し睡眠に関して不満をもつ人にアドバイスできる人材「睡眠改善インストラクター」の育成を目指しています。

「睡眠改善インストラクター」を育成するための講習と検定試験は年2回実施する予定です。第1回は平成18年3月15日から17日にかけて行われ、50人が認定されました。

『日本睡眠改善協議会』
発足記者発表会
（1月27日、東京・ロイヤルパーク汐留）

財務ハイライト

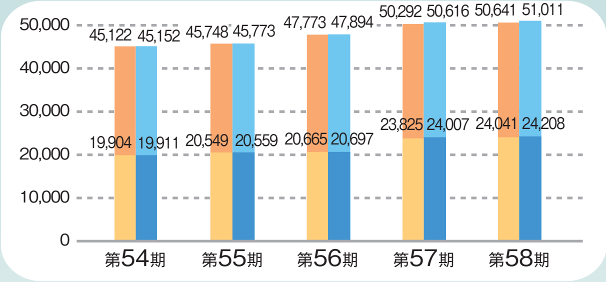
主要な経営指標等の推移（連結）

（単位　百万円）

科　目　　期　別	第54期（平成14年3月）	第55期（平成15年3月）	第56期（平成16年3月）	第57期（平成17年3月）	第58期（平成18年3月）
売上高	45,152	45,773	47,894	50,616	51,011
経常利益	5,382	5,870	7,259	8,146	6,734
当期純利益	2,497	3,127	4,182	5,140	3,782
一株当たり当期純利益（円）	78.86	98.29	131.87	162.38	120.61
総資産	72,821	74,331	81,169	83,161	84,314
純資産	59,441	61,148	66,159	69,899	70,015

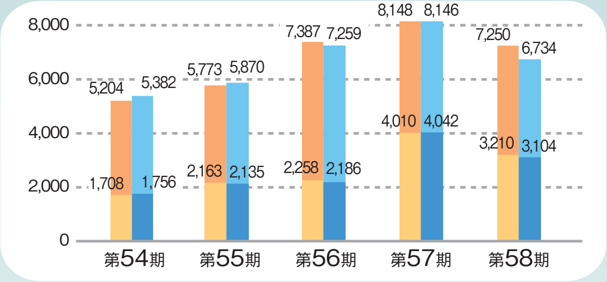
■売上高

（単位　百万円）



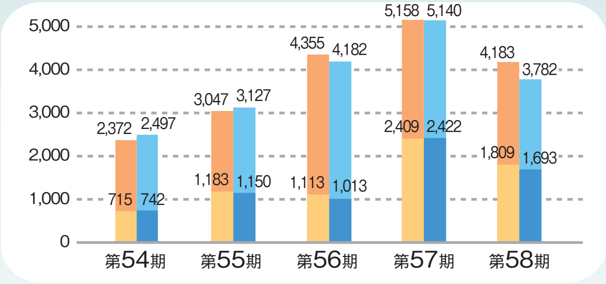
■経常利益

（単位　百万円）



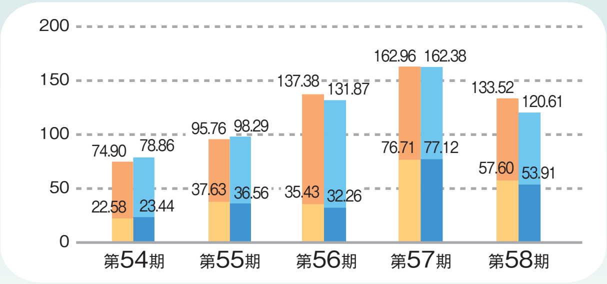
■当期純利益

（単位　百万円）



■一株当たり当期純利益

（単位　円）



単体中間期　単体通期　連結中間期　連結通期

営業の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益の改善や設備投資の増加に加え、雇用情勢に改善がみられる一方、個人消費も緩やかに増加するなど、景気は全体として緩やかに回復をつづけています。

当医療業界におきましては、政府・与党が決めた医療制度改革大綱に基づき、医療制度改革関連法案が国会に上程されました。同法案には、高齢者医療制度の創設や高齢患者負担増のほか、療養病床の再編などが盛り込まれています。

高齢者福祉分野におきましては、介護保険のもとでの福祉用具市場が引きつづき拡大し、12月末時点における在宅介護用ベッドの利用者は前年度比で10.7%増加し705千人となりました。また介護保険の制度改正関連では、10月から介護保険施設における食費・居住費の利用者負担が先行実施されたほか、平成18年4月実施分の詳細が決まるとともに、介護報酬の改定（10月改定分を含め2.4%減）が行われました。

このような事業環境のなかで、当社グループは業績の向上を図るため、設備投資や研究開発などに努めました。

まず、主な設備投資といたしましては、技術開発部門強化の一環として、本社隣接地に建設中のテクニカルセンターが竣工いたしました。また販売力強化のため、大阪支店ショールームの拡充や直営店「INTIME（インタイム）札幌」の開設を行いました。

製品の開発・販売面におきましては、軽度の要介護者の起き上がりや立ち上がりを助ける在宅ケアベッド「楽匠～自立促進シリーズ」やユニバーサルデザインによる歩行車、洗浄可能なエバーフィットマットレスを上市いたしました。このほか中国市場向けの病院用ギャッチベッドとして、手動式ベッドを上市するとともに電動式ベッドの開発に取り組みました。

また、子会社パラテクノ株式会社にメンテナンスサービスを全面移管いたしました。

当連結会計年度の業績につきましては、まずユーザー別売上を見ますと、民間病院の改築・改修に伴う需要が牽引し、施設向け全体では前期に比べ6.1%増加いたしました。一方、在宅向けは新製品を投入したものの、介護保険の制度改正のゆくえが不透明なことから流通事業者の様子見が広がり、前期に比べ9.1%減少いたしました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は、前期比3億94百万円増（0.8%増）の510億11百万円となりました。

利益につきましては、鋼材等の価格の高騰による製造コストの上昇などにより、営業利益は前期比17.1%減の63億30百万円となりました。経常利益は、受取利息など営業外収益の減少により、同17.3%減の67億34百万円となりました。また当期純利益につきましては、適格退職年金終了益を計上した前期に比べ特別利益が大幅に減少したため、同26.4%減の37億82百万円となりました。

また、キャッシュ・フローの状況は、つぎのとおりであります。

営業活動の結果、増加した現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は50億68百万円となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益65億43百万円、減価償却費17億68百万円、売上債権の減少額9億70百万円等による増加と、たな卸資産の増加額8億27百万円、法人税等の支払額31億98百万円等の減少によるものであります。

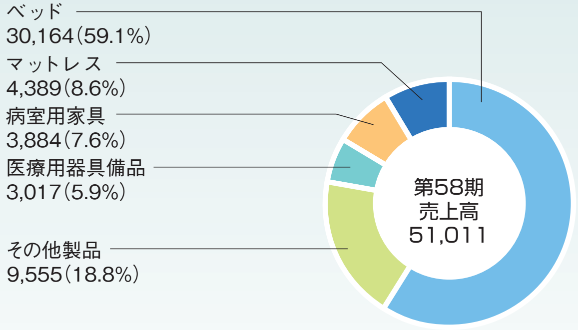
投資活動の結果、減少した資金は60億56百万円となりました。これは主に、有価証券、投資有価証券の取得額93億73百万円、有形固定資産の取得額25億24百万円等による減少と、有価証券、投資有価証券の売却額56億52百万円等による増加によるものであります。

財務活動の結果、減少した資金は45億88百万円となりました。これは主に、配当金の支払額17億88百万円、自己株式の取得額28億1百万円によるものであります。

これらの結果、現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末に比べ55億43百万円減少し、152億47百万円となりました。

■品目別売上高

（単位　百万円）



連結貸借対照表（要旨）

（単位　百万円）

科目＼期別	前期（平成17年3月31日現在）金額	前期 構成比（%）	当期（平成18年3月31日現在）金額	当期 構成比（%）
流動資産	46,807	56.3	42,478	50.4
現金及び預金	17,722		10,979	
受取手形及び売掛金	17,476		16,593	
有価証券	6,435		8,768	
たな卸資産	4,481		5,346	
その他	692		790	
固定資産	36,353	43.7	41,836	49.6
有形固定資産	20,756		22,753	
無形固定資産	1,783		1,848	
投資その他の資産	13,813		17,234	
資産合計	83,161	100.0	84,314	100.0
流動負債	11,355	13.6	11,571	13.7
支払手形及び買掛金	6,635		—	
買掛金	—		6,372	
その他	4,720		5,199	
固定負債	1,740	2.1	2,600	3.1
負債合計	13,095	15.7	14,172	16.8
少数株主持分	165	0.2	126	0.2
資本金	6,591	7.9	6,591	7.8
資本剰余金	7,276	8.8	7,276	8.6
利益剰余金	55,425	66.7	57,377	68.0
その他有価証券評価差額金	1,401	1.7	2,167	2.6
為替換算調整勘定	△　65	△0.1	131	0.2
自己株式	△　730	△0.9	△3,529	△4.2
資本合計	69,899	84.1	70,015	83.0
負債、少数株主持分及び資本合計	83,161	100.0	84,314	100.0

POINT●1
当期の有形固定資産の金額には、技術開発部門強化の一貫として本社隣接地に建設しておりましたテクニカルセンターと、昨年の3月から操業を開始しております八楽夢床業（中国）有限公司への設備投資額が含まれています。

POINT●2
保有有価証券の時価が上昇したため、その他有価証券評価差額金が前期に比べ、大きく増加いたしました。

POINT●3
平成17年11月に、東京証券取引所のToSTNeT-2による自己株式の取得（986,100株）を実施いたしました。

連結損益計算書（要旨）

（単位　百万円）

科目＼期別	前期（平成16年4月1日から平成17年3月31日まで）金額	前期 百分比（%）	当期（平成17年4月1日から平成18年3月31日まで）金額	当期 百分比（%）
売上高	50,616	100.0	51,011	100.0
売上原価	30,232	59.7	31,629	62.0
売上総利益	20,383	40.3	19,381	38.0
販売費及び一般管理費	12,751	25.2	13,050	25.6
営業利益	7,632	15.1	6,330	12.4
営業外収益	523	1.0	407	0.8
営業外費用	9	0.0	3	0.0
経常利益	8,146	16.1	6,734	13.2
特別利益	688	1.4	13	0.0
特別損失	146	0.3	204	0.4
税金等調整前当期純利益	8,688	17.2	6,543	12.8
法人税、住民税及び事業税	3,419	6.8	3,213	6.3
法人税等調整額	128	0.2	△　385	△0.8
少数株主損失	—	—	66	0.1
当期純利益	5,140	10.2	3,782	7.4

POINT●4
売上高は、前期に比べると0.8%増加いたしました。ユーザー別売上では、施設向けは、民間病院の改築・改修に伴う需要が牽引し前期比6.1%の増加、一方、在宅向けは、介護保険の制度改正のゆくえが不透明なことから流通事業者の様子見が広がり同9.1%減少いたしました。

POINT●5
売上高総利益率は主要原材料である鋼材等の価格の高騰による製造コストの上昇もあり、前期比2.3ポイント減の38.0%となりました。

連結剰余金計算書

（単位　百万円）

科目	前期（平成16年4月1日から平成17年3月31日まで）	当期（平成17年4月1日から平成18年3月31日まで）
（資本剰余金の部）		
資本剰余金期首残高	7,276	7,276
資本剰余金増加高	0	0
自己株式処分差益	0	0
資本剰余金期末残高	7,276	7,276
（利益剰余金の部）		
利益剰余金期首残高	51,456	55,425
利益剰余金増加高	5,140	3,782
当期純利益	5,140	3,782
利益剰余金減少高	1,170	1,830
配当金	1,130	1,790
取締役賞与	40	40
利益剰余金期末残高	55,425	57,377

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位　百万円）

科目	前期（平成16年4月1日から平成17年3月31日まで）	当期（平成17年4月1日から平成18年3月31日まで）
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,556	5,068
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,252	△ 6,056
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,133	△ 4,588
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 1	32
現金及び現金同等物の増減額	168	△ 5,543
現金及び現金同等物の期首残高	20,622	20,790
現金及び現金同等物の期末残高	20,790	15,247

単体貸借対照表（要旨）

（単位　百万円）

科目	前期（平成17年3月31日現在）	当期（平成18年3月31日現在）
流動資産	45,926	41,114
固定資産	36,707	42,736
資産合計	82,634	83,850
流動負債	11,293	11,351
固定負債	1,718	2,556
負債合計	13,011	13,908
資本金	6,591	6,591
資本剰余金	7,276	7,276
利益剰余金	55,083	57,436
その他有価証券評価差額金	1,401	2,167
自己株式	△ 730	△ 3,529
資本合計	69,622	69,942
負債資本合計	82,634	83,850

利益処分計算書

（単位　百万円）

科目	前期（平成17年6月29日）	当期（平成18年6月29日）
当期未処分利益	7,020	5,873
任意積立金取崩額		
圧縮積立金取崩額	0	0
合計	7,021	5,874
利益処分額		
配当金	1,005	760
取締役賞与	40	40
任意積立金		
別途積立金	3,500	3,000
次期繰越利益	2,476	2,073

単体損益計算書（要旨）

（単位　百万円）

科目	前期（平成16年4月1日から平成17年3月31日まで）	当期（平成17年4月1日から平成18年3月31日まで）
売上高	50,292	50,641
売上原価	30,108	31,155
売上総利益	20,184	19,486
販売費及び一般管理費	12,567	12,636
営業利益	7,617	6,849
営業外収益	538	430
営業外費用	7	29
経常利益	8,148	7,250
特別利益	687	13
特別損失	146	202
税引前当期純利益	8,689	7,061
法人税、住民税及び事業税	3,399	3,180
法人税等調整額	131	△ 302
当期純利益	5,158	4,183
前期繰越利益	2,427	2,476
中間配当額	565	785
当期未処分利益	7,020	5,873

株式の状況（平成18年3月31日現在）

■会社が発行する株式の総数　100,000,000株

■発行済株式の総数　31,682,526株

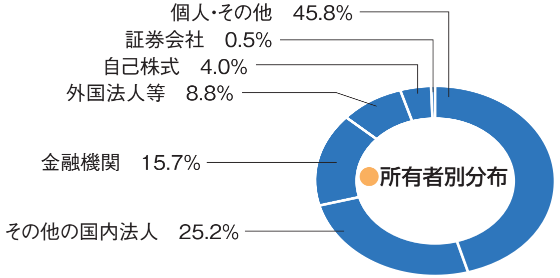
■株主数　20,237名

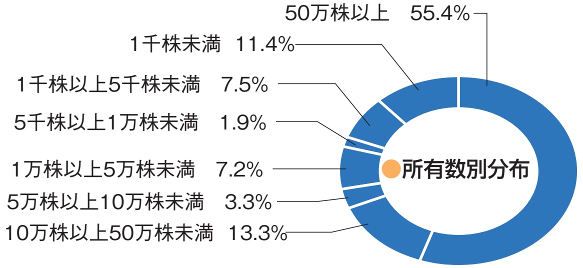
■大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	議決権比率
	（千株）	（%）
木村興産株式会社	6,607	21.8
木村憲司	2,535	8.4
木村恭介	1,913	6.3
株式会社みずほ銀行	1,203	4.0
木村通秀	1,195	3.9
日本マスタートラスト信託銀行株式会社信託口	787	2.6
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社信託口	704	2.3
財団法人木村看護教育振興財団	675	2.2
木村隆輔	669	2.2
パラマウントベッド社員持株会	292	1.0

（当社は自己株式1,260千株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。）

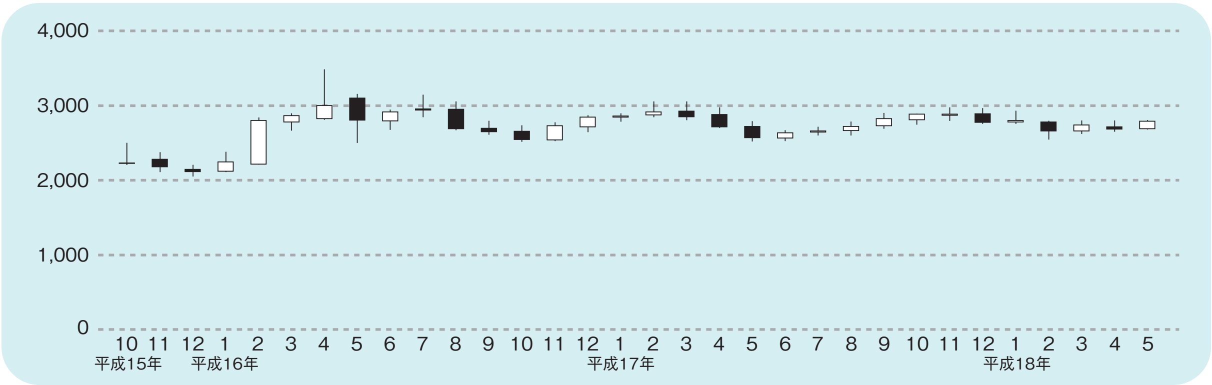
■株式の分布状況





■株価チャート

（単位　円）



会社概要（平成18年3月31日現在）

商　　号	パラマウントベッド株式会社
本　　社	〒136-8670 東京都江東区東砂2丁目14番5号 TEL :(03) 3648-1111 (大代)
設　　立	1950年5月
資 本 金	65億9,132万円
従業員数	936名
事業内容	●医療用ベッドおよびマットレス並びに病室用家具など病棟看護製品の製造および販売 ●在宅福祉用ベッド並びにマットレスの製造および販売

■役員

代表取締役社長	木村憲司
代表取締役副社長	木村恭介
取締役	本図一郎
取締役	木村通秀
取締役	加藤忠治
取締役	坂本郁夫
取締役	田中　敦
取締役	堀内俊雄
取締役	徳田浩克
常勤監査役	関根忠博
常勤監査役	柴田勝裕
監査役	竹川哲雄
監査役	池上悦次

（取締役　徳田浩克は、平成18年6月29日開催の第58回定時株主総会にて新たに選任された社外取締役であります。）

■事業所・子会社一覧

・事業所

■国内

●本社
〒136-8670 東京都江東区東砂2丁目14番5号
TEL :(03) 3648-1111 (大代)　営業部直通 :(03) 3648-1171 (代)
FAX :(03) 3648-3662

●札幌支店
〒060-0062 北海道札幌市中央区南2条西13丁目318番地11
TEL :(011) 271-1181 (代)　FAX :(011) 271-7282

●仙台支店
〒984-0015 宮城県仙台市若林区卸町2丁目3番地の3
TEL :(022) 239-5211 (代)　FAX :(022) 239-5217

●さいたま支店
〒338-0001 埼玉県さいたま市中央区上落合9丁目4番7号
TEL :(048) 852-0707 (代)　FAX :(048) 852-0701

●横浜支店
〒194-0004 東京都町田市鶴間1715番地1
TEL :(042) 795-8800 (代)　FAX :(042) 788-7019

●名古屋支店／INTIME名古屋
〒461-0001 愛知県名古屋市東区泉1丁目20番17号
(名古屋支店) TEL :(052) 963-0600 (代)　FAX :(052) 963-0601
(INTIME名古屋) TEL :(052) 963-6800 (代)　FAX :(052) 963-6801

●大阪支店
〒550-0001 大阪府大阪市西区土佐堀2丁目3番33号
TEL :(06) 6443-8791 (代)　FAX :(06) 6443-9833

●広島支店
〒733-0011 広島県広島市西区横川町3丁目8番5号
TEL :(082) 293-1311 (代)　FAX :(082) 293-1393

●高松支店
〒761-8031 香川県高松市郷東町223番1
TEL :(087) 881-8800 (代)　FAX :(087) 870-5151

●福岡支店／INTIME福岡
〒812-0013　福岡県福岡市博多区博多駅東3丁目14番20号
(福岡支店) TEL :(092) 461-1131 (代)　FAX :(092) 461-1138
(INTIME福岡) TEL :(092) 461-0666 (代)　FAX :(092) 461-0667

●INTIME京橋/パラマウント・ユニバーサルデザイン・ステーション (PUDS)
〒104-0031　東京都中央区京橋1丁目6番1号三井住友海上テプコビル1階
(INTIME京橋)TEL :(03) 5250-1515 (代)　FAX :(03) 5250-1516
(PUDS)　TEL :(03) 5250-1535 (代)　FAX :(03) 5250-1536

●INTIME札幌
〒060-0004 北海道札幌市中央区北4条西5丁目1番地4三井生命札幌共同ビル1階
TEL :(011) 219-8800 (代)　FAX :(011) 219-8808

●INTIME心斎橋
〒542-0086 大阪府大阪市中央区西心斎橋1丁目13番15号三栄心斎橋ビル1階
TEL :(06) 6245-9021 (代)　FAX :(06) 6245-9022

●千葉工場
〒289-1306 千葉県山武市白幡2078番地
TEL :(0475) 82-6111 (代)　FAX :(0475) 82-4645

●松尾工場
〒289-1537 千葉県山武市松尾町借毛本郷617番地
TEL :(0479) 86-3331 (代)　FAX :(0479) 86-3333

●大平工場
〒289-1536 千葉県山武市松尾町下之郷690番1号
TEL :(0479) 86-2121 (代)　FAX :(0479) 86-2990

■海外

●上海事務所
日本八楽夢有限公司上海事務所
(PARAMOUNT BED CO., LTD. Shanghai Office)
上海市盧湾区淮海中路138号上海広場ビル1701号
TEL :(86-21) 5383-5111/6111　FAX :(86-21) 5383-7111

・子会社

■国内

●パラテクノ株式会社
〒273-0024 千葉県船橋市海神町南1丁目1648番地7
TEL :(047) 431-0552 (代)　FAX :(047) 431-0564

■海外

●PT.PARAMOUNT BED INDONESIA
MM2100 Industrial Town, Block M-1-1,
Export Processing Zone, Cikarang Barat,
Bekasi 17520, Jawa Barat, Indonesia
TEL :(62-21) 8980715　FAX :(62-21) 8980716

●八楽夢床業（中国）有限公司
(PARAMOUNT BED (CHINA) CO., LTD.)
江蘇省無錫市国家高新技術産業開発区A-105地塊
TEL :(86-510) 8532-3201　FAX :(86-510) 8532-3213